活用TIPs:過去ロックの発生状況を確認する



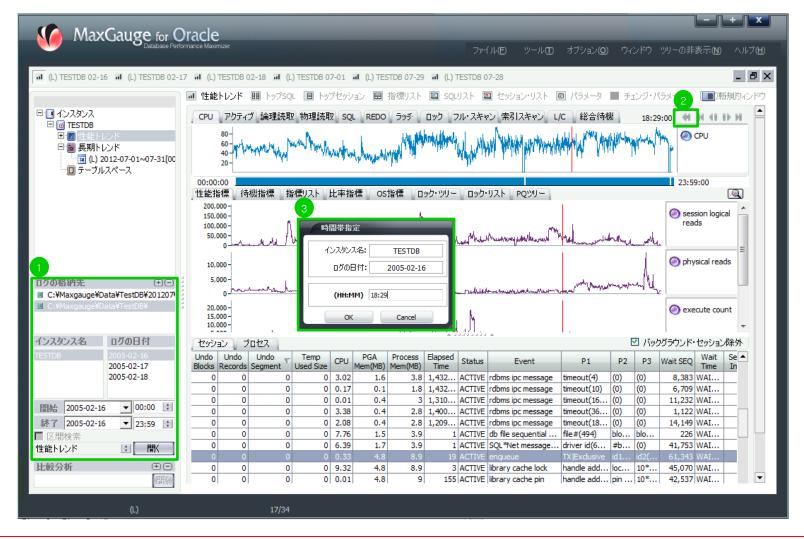
本TIPsは、以下の場面でロック発生状況の調査で活用します。

- ☑ ORA-60(デッドロック)が発生し、その詳細を調査する。
- 開発担当から遅延調査の依頼で、該当セッションがロック関連の待機イベントが発生し、ロック状況を調査する。

活用TIPs:過去ロックの発生状況を確認する(1/5)



Performance Analyzerから、分析対象の「インスタンス名」、「ログの日付」を選択して開きます。 デッドロック(ORA-60)または処理遅延の発生時刻を指定し、セッション・リストを表示します。



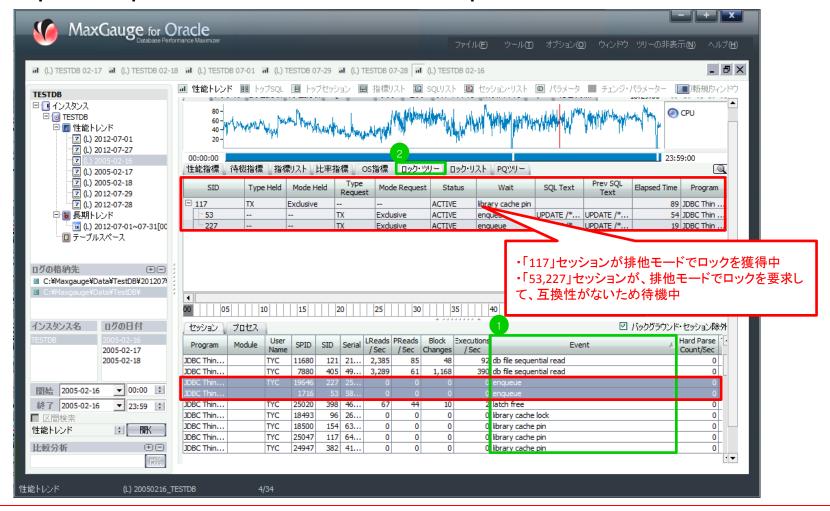
活用TIPs:過去ロックの発生状況を確認する(2/5)

MaxGauge活用TIPs



該当セッションの待機イベント「Event」を確認し、ロック関連(※1)の待機イベントが表示されたら、「ロック・ツリー」タブでロックの発生状況を確認します。

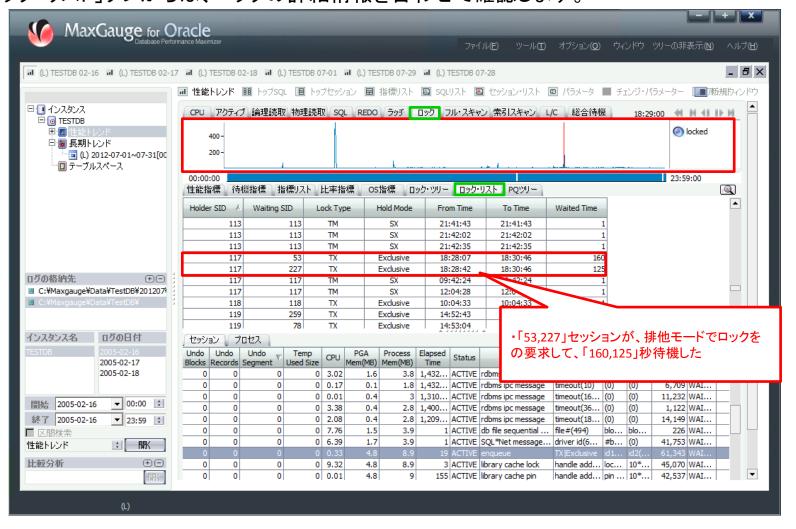
※1 enqueue、enq:TX -xxx(トランザクションロック)、enq:TM -xxx(テーブルロック)等



活用TIPs:過去ロックの発生状況を確認する(3/5)



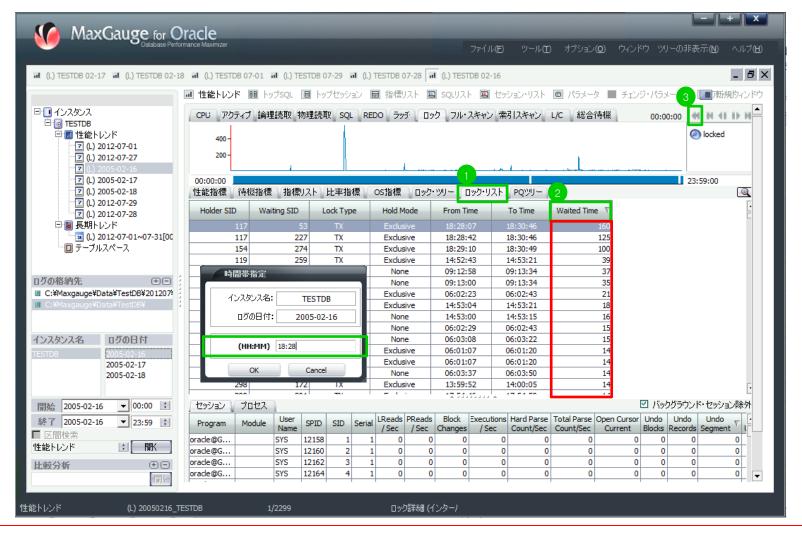
「ロック」タブで一日分のロック発生の推移グラフを確認します。
「ロック・リスト」タブからは、ロックの詳細情報を合わせて確認します。



活用TIPs:過去ロックの発生状況を確認する(4/5)



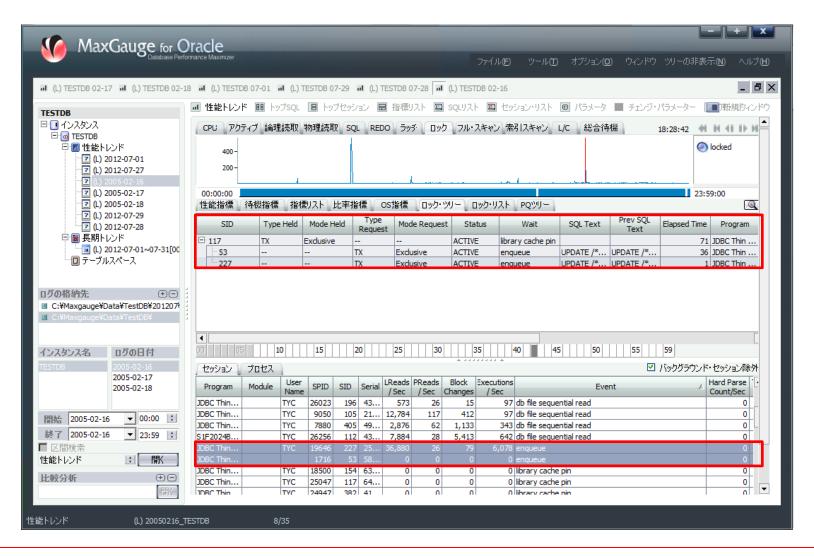
Performance Analyzerから、「ロックリスト」タブで「Waited Time」項目を逆順でソートし
ー日分のロックリストで確認すべきロックの発生時刻を指定します。



活用TIPs:過去ロックの発生状況を確認する(5/5)



該当ロックのセッション情報、ロック・ツリーを確認します。



活用TIPs:過去ロックの発生状況を確認する





今回のTIPからは、以下の事を確認しました。

- ✓ セッション毎のロックの発生状況
- ✓ 一日分のロック発生状況
- ✓ ロックの詳細情報



MaxGauge TIPsはこちら

http://www.ex-em.co.jp/exem_labo/exemlabo_maxgauge_tips_index.html

<お問い合わせ>

日本エクセム株式会社

TEL: 03-4530-9598

e-mail:service@ex-em.co.jp

DATABASE ARTIST GROUP

http://www.ex-em.co.jp